

平成 27 年度事業報告

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

I 世界に開かれた県民意識の向上の推進

【目標】

県民が、世界の人々と対等で良好な関係が築けるよう意識の向上を推進する。特に、国際社会に貢献し世界をリードする幅広い視野や国際感覚を持つ次世代を育成するため、様々な事業を展開するとともに、行政や民間団体等と連携・協力していく。

【目標指数】※

項 目	平成 27 年度 目標	平成 27 年度 実績 (達成率)
本協会が企画する国際理解講座数	45	59 (131%)

※ 【目標指数】は、当協会第 4 期運営基本計画 (平成 23 年度～平成 27 年度) に基づく。

【事業実績】

1 多様な交流や国際理解の推進

(1) 国際理解出張講座

県内の学校や公民館、学習センター、各種団体等に当協会役職員等が講師として出向き、県民を対象として、異文化や貧困、人権問題等世界規模の課題をより深く理解してもらうための国際理解講座を下記のとおり様々なテーマで実施した。

○ 講座名と実施回数 計 59 回 (前年度比 105%)

- A 世界の現状について学ぶ「世界がもし 100 人の村だったら」(8 回)
- B 世界の多様性について学ぶ「これってアリ？」(14 回)
- C 外国人の人権について学ぶ「じゃがいも君と話そう」(6 回)
- D 国際協力について学ぶ「貿易ゲーム」(12 回)
- E 環境問題について学ぶ「魚とりゲーム」(1 回)
- F 外国出身県民の現状と今後の動向(0 回)
- G A～F 以外で依頼者の相談に応じる講座(14 回)
- H コミュニケーションについて学ぶ「外国人とコミュニケーション」(4 回)

○ 内訳

No	月 日	実施団体	対 象	参加 人数	講座名	講師（敬称略）
1	5月7日	伊達市立伊達小学校	小学生	70	B	理事 布田節子
2	5月15日	福島大学	大学生	60	G	主事 菅本裕介
3	6月2日	福島大学	大学生	50	G	主任主査 幕田順子
4	7月1日	本宮市立五百川小学校	小学生	42	A	嘱託員 日下部喜美子
5	7月1日	本宮市立白岩小学校	小学生	45	D	嘱託員 日下部喜美子
6	7月13日	田村市立滝根中学校	中学生	45	C	ふくしま青年海外協力隊の会 布田節子
7	9月5日	郡山市小山田地域公民館	一般	15	B	ふくしまユースグローバルレッジ1期生 松井智宏
8	9月9日	郡山萌世高等学校	高校生	40	D	嘱託員 日下部喜美子
9	9月9日	郡山萌世高等学校	高校生	85	A	ふくしま青年海外協力隊の会 布田節子
10	9月9日	郡山萌世高等学校	高校生	25	G	主事 菅本裕介
11	9月10日	本宮市立糠沢小学校	小学生	29	D	ふくしま青年海外協力隊の会 布田節子
12	9月10日	本宮市立和田小学校	小学生	28	D	ふくしま青年海外協力隊の会 布田節子
13	9月15日	福島地方法務局	人権擁護 委員	36	C	ふくしま青年海外協力隊の会 布田節子
14	10月6日	本宮市立本宮小学校	小学生	63	B	ふくしま青年海外協力隊の会 布田節子
15	10月6日	本宮市立岩根小学校	小学生	58	D	ふくしま青年海外協力隊の会 布田節子
16	10月17日	小野町国際交流協会	小学生 その保護者	30	D	嘱託員 日下部喜美子

17	10月24日	福島ユネスコ協会	一般	10	G	国際交流員 大屋直美
18	11月4日	国見町立国見小学校	小学生	74	G	嘱託員 日下部喜美子
19	11月5日	国見町立国見小学校	小学生	90	A	ふくしま青年海 外協力隊の会 布田節子
20	11月6日	福島県立あさか開成 高校	高校生	200	G	国際交流員 大屋直美
21	11月12日	福島地方法務局分室	一般	19	C	ふくしま青年海 外協力隊の会 布田節子
22	11月18日	福島市渡利学習セン ター	一般	40	G	国際交流員 大屋直美
23	11月19日	田村市立広瀬小学校	小学生	20	B	嘱託員 日下部喜美子
24	11月19日	田村市立岩井沢小学 校	小学生	10	B	嘱託員 日下部喜美子
25	11月19日	本宮市立本宮まゆみ 小学校	小学生	56	A	ふくしま青年海 外協力隊の会 布田節子
26	11月28日	白河市国際交流協会	一般	30	H	国際交流員 大屋直美
27	11月30日	本宮市立白沢中学校	中学生	70	D	ふくしま青年海 外協力隊の会 布田節子
28	12月3日	福島市立西信中学校	中学生	30	G	主事 菅本裕介
29	12月3日	福島市立西信中学校	中学生	30	H	国際交流員 大屋直美
30	12月3日	福島市立西信中学校	中学生	30	G	嘱託員 日下部喜美子
31	12月3日	福島市立西信中学校	中学生	30	B	ふくしま青年海 外協力隊の会 布田節子
32	12月9日	本宮市立本宮第二中 学校	中学生	104	B	嘱託員 日下部喜美子
33	12月9日	本宮市立本宮第一中 学校	中学生	128	B	嘱託員 日下部喜美子
34	12月15日	田村市立常葉小学校	小学生	22	E	ふくしま青年海 外協力隊の会 布田節子

35	12月15日	田村市立常葉小学校	小学生	29	B	ふくしま青年海外協力隊の会 布田節子
36	12月17日	福島県インターアクトクラブ大会事務局	中学生 高校生	40	D	嘱託員 日下部喜美子
37	12月17日	福島県インターアクトクラブ大会事務局	中学生 高校生	40	H	国際交流員 大屋直美
38	12月17日	福島県インターアクトクラブ大会事務局	中学生 高校生	40	C	ふくしま青年海外協力隊の会 布田節子
39	12月17日	福島県インターアクトクラブ大会事務局	中学生 高校生	40	H	国際交流員 大屋直美
40	12月17日	福島県インターアクトクラブ大会事務局	中学生 高校生	40	D	嘱託員 日下部喜美子
41	12月17日	福島県インターアクトクラブ大会事務局	中学生 高校生	40	C	ふくしま青年海外協力隊の会 布田節子
42	1月12日	田村市立美山小学校	小学生	22	D	嘱託員 日下部喜美子
43	1月12日	田村市立要田小学校	小学生	16	B	嘱託員 日下部喜美子
44	1月13日	福島市清水学習センター分館	一般	20	G	国際交流員 大屋直美
45	1月26日	日本大学東北高校	高校生	58	A	嘱託員 日下部喜美子
46	1月27日	喜多方市立山都小学校	小学生	19	B	嘱託員 日下部喜美子
47	2月3日	福島市立福島第一小学校	小学生	44	G	国際交流員 大屋直美
48	2月6日	福島市信陵学習センター	一般	25	G	国際交流員 大屋直美
49	2月15日	福島市立福島第一小学校	小学生	31	C	ふくしま青年海外協力隊の会 布田節子
50	2月16日	福島市立福島第一小学校	小学生	25	A	ふくしま青年海外協力隊の会 布田節子
51	2月17日	福島市立福島第一小学校	小学生	30	D	嘱託員 日下部喜美子
52	2月18日	白河市立関辺小学校	小学生	55	A	ふくしま青年海外協力隊の会 布田節子

53	2月18日	白河市立白河第五小学校	小学生	27	B	ふくしま青年海外協力隊の会 布田節子
54	2月22日	白河市立信夫第二小学校	小学生	21	B	ふくしま青年海外協力隊の会 布田節子
55	2月23日	白河市立小田川小学校	小学生	28	B	嘱託員 日下部喜美子
56	2月23日	白河市立信夫第一小学校	小学生	46	A	嘱託員 日下部喜美子
57	2月24日	白河市立白河第一小学校	小学生	57	G	国際交流員 大屋直美
58	2月25日	福島市立福島第一小学校	小学生	33	D	嘱託員 日下部喜美子
59	3月11日	福島ユネスコ協会	一般	9	G	国際交流員 大屋直美

(のべ参加者数 2,549 名)

(2) ふくしまグローバルセミナー2015

JICA 二本松を利用し、福島県国際理解教育ネットワーク（構成団体：福島県、福島県教育委員会、JICA 二本松、当協会）の主催により、県民を対象として、異文化理解や国際協力、多文化共生等について考えるため、外国出身者による母国紹介や国際協力現場レポートなど幅広い内容の講座を実施した。

○ 日 時：9月26日（土）10：00～27日（日）11：50

○ 場 所：JICA二本松

○ 参加者：高校生以上一般 155名

○ 内 容：全体会、昼食/夕食交流会

セッション（「挑戦！みんなのまちづくり」他13講座）

グロセミカフェ、自主セッション（「多文化キッズキャンプin福島2015」

他10講座）

(3) グローバルコミュニティカフェ

外国語による会話を通じて、外国の言語や社会、文化等に関する理解を深めるため、ゲストスピーカーとして外国出身のふくしま多文化共生サポーター等を活用し、気軽に外国語に触れる機会を下記のとおり当協会において定期的に提供した。

○ 内容

【午前の部：グローバルコミュニケーションコース】

毎回様々な国の出身のゲストスピーカーを迎え、母語に触れながらその国の文化を理解した。

【午後の部：English Communication Course】

毎回様々なテーマについての英語でのフリーディスカッションを行いながら、ゲ

ストスピーカーの国の文化を理解した。

○ 内訳

回	月 日	時 間	上段：言語名または英語でのフリー ディスカッションのテーマ 下段：国際交流員及びゲストスピー カーの出身国	参加 人数 (うち外 国出身 者数)
1	7月18日(土)	10:00～11:30	言 語：ポルトガル語 出身国：ブラジル	14(2)
		14:00～16:00	テーマ：祝日の過ごし方 出身国：カナダ、オーストラリア	13(0)
2	8月5日(土)	10:00～11:30	言 語：アラビア語 出身国：エジプト	4(2)
		14:00～16:00	テーマ：祝祭日の特別料理 出身国：カナダ、フィジー	7(0)
3	9月5日(土)	10:00～11:30	言 語：タガログ語 出身国：フィリピン	11(1)
		14:00～16:00	テーマ：人気の国内観光スポット 出身国：カナダ、オーストラリア	12(2)
4	10月17日(土)	10:00～12:00	言 語：韓国語 出身国：韓国	16(2)
		14:00～16:00	テーマ：妖怪など伝説上の生き物及 びハロウィーン 出身国：カナダ、イギリス、ニュー ジーランド	18(1)
5	11月7日(土)	10:00～12:00	言 語：インドネシア語 出身国：インドネシア	10(4)
		14:00～16:00	テーマ：母国で人気のあるスポーツ 出身国：カナダ、アメリカ、イギリ ス、オーストラリア	15(2)
6	12月12日(土)	10:00～12:00	言 語：ドイツ語 出身国：ドイツ	19(2)
		14:00～16:00	言 語：教育制度 出身国：カナダ、イギリス、オース トラリア、ニュージーランド	19(1)
7	1月16日(土)	10:00～12:00	言 語：タイ語 出身国：タイ	13(1)
		14:00～16:00	テーマ：風邪の民間療法 出身国：カナダ、アメリカ、イギリス	18(1)

8	2月20日(土)	10:00~12:00	言語：ベトナム語 出身国：ベトナム	13(0)
		14:00~16:00	テーマ：バレンタイン 出身国：カナダ、アメリカ、イギリス、オーストラリア	21(2)
9	3月5日(土)	10:00~12:00	言語：ネパール語 出身国：ネパール	14(1)
		14:00~16:00	テーマ：ストレス解消法 出身国：カナダ、アメリカ、イギリス、ニュージーランド	17(2)

(のべ参加人数 254名 うち外国出身者 26名)

2 グローバル社会で活躍する次世代の人材育成

(1) ふくしまユースグローバルカレッジ 2015

概ね39歳以下の県内大学生及び社会人を対象として、グローバル社会で活躍する次世代の人材を育成するため、様々な世界規模の課題をテーマとする年間5回の連続講座を実施した。

回	月日及び会場	テーマ	講師(敬称略)	参加人数(うち外国出身者数)
1	6月20日(土)10:00 ~21日(日)13:00 (宿泊) JICA 二本松	世界の多様性	布田節子 (ふくしま青年海外協力隊の会) 日下部喜美子 (グローバル教育研究会ふくしま) 竹田朋彦 (福島県国際理解教育研究会)	15(1)
2	7月25日(土)9:30 ~16:00 当協会	世界のグローバル化	同上	18(1)
3	8月29日(土)9:00 ~16:00 当協会	世界規模の課題	同上	9(1)
4	9月26日(土)10:00 ~27日(日)15:00 (宿泊) JICA 二本松	「ふくしまグローバルセミナー2015」への参加と振り返り	同上	14(1)

5	11月14日(土) 9:30 ~16:30 当協会	私たち一人 一人ができること	布田節子 (ふくしま青年海外協力隊の会) 日下部喜美子 (グローバル教育研究会ふくしま) 竹田朋彦 (福島県国際理解教育研究会) 松井智宏 (ふくしまユースグローバルカレッジ1期生)	13(1)
		公開講座 (13:30~ 15:30)	テーマ：国際協力：隗より始めよ～ ラオス、タイ、カンボジア、ミヤ ンマー、ベトナムの現場から～ 講師：秋尾晃正 ((公財) 民際セン ター理事長)	16(0)

(のべ参加人数 85 名 うち外国出身者 5 名)

(2) 次世代の海外研修への助成

原則として 39 歳以下の大学生や社会人を対象として、国際社会に貢献し世界をリードする幅広い視野や国際感覚を持つグローバル人材を育成するため、非営利の国際交流団体等が主催する海外研修プログラムに参加する 7 名に対し、渡航経費の一部として総額 69 万円の助成金を交付した。

また、「ふくしまグローバルセミナー2015」(P5)の自主セッション又は「助成事業等報告会」(P27)において、助成対象者が研修成果を発表した。

	氏名	所 属	活動名 (国名)	交付額 (万円)
1	角田真央	桜の聖母短期大学 1 年	桜の聖母 2015 年カナダ研修プログラム (カナダ)	10
2	外山裕一	NPO 法人あいえるの会	ハワイにおける障がい者自立生活研 修 2015 (アメリカ)	10
3	磯秀玲	つばさ～日中ハーフ支 援会	華文教育・資深教師華夏行 (中国)	10
4	尚雅婷	つばさ～日中ハーフ支 援会	華文教育・華文教師証書班 (中国)	10
5	吉田繭	福島大学 3 年	カンボジア 村の学校で日本語英語 教育ボランティア (カンボジア)	10
6	阪本唯	福島大学 3 年	カンボジア教育支援プロジェクト (カンボジア)	10

7	加藤実可子	福島大学3年	福島大学経済経営学類・海外フィールドワーク「マレーシアにおける多文化共生社会とイスラム経済に関する調査」 (マレーシア)	9
---	-------	--------	---	---

Ⅱ 外国出身県民とともに創る活力ある地域づくりの推進

【目標】

外国出身県民が、地域住民として等しく行政サービスが受けられ、地域づくりのパートナーとして活躍できるよう環境の整備を推進する。

【目標指数】

項目	平成27年度 目標	平成27年度 実績（達成率）
外国出身のふくしま多文化共生サポーター活動人数	60	73(122%)

【事業実績】

1 安全・安心な地域づくりの推進

(1) 多言語による相談対応

【多言語による相談窓口】

多言語相談員1名及び通訳員3名を配置し、中国語と英語は随時、韓国語、タガログ語、ポルトガル語は毎週木曜日10:00～14:00（第4・第5木曜日は予約制）に、行政サービスや在留資格など外国出身県民に関わる各種問い合わせに対応した。

○相談件数：435件（前年度比83%）

○相談言語：日本語(222)、中国語(184)、タガログ語(15)、英語(10)、ポルトガル語(3)、韓国語(1)

○トリオフォン利用件数：27件（前年度比129%）

○ 主な相談内容と出身国

内容 出身国	生活 全般	交流	日本 語	在留 資格	医療	家族	労働	その 他	合計
中 国	80	15	11	26	29	9	10	16	196
日 本	29	62	55	10	2	7	2	16	183
フィリピン	2	3	2	1		3		11	22
韓 国		5	1	2					8
ブ ラ ジ ル	3								3
台 湾	1							2	3
そ の 他	6	8	2	1			3		20
合 計	121	93	71	40	31	19	15	45	435

【外国語による地震情報センター】

震災後、福島県国際課と協力して立ち上げた「外国語による地震情報センター」において、福島県の「東日本大震災関連情報」の一部を多言語に翻訳して県HPにアップし、情報提供することを継続するとともに、通常の「多言語による相談」業務内で電話やメール等での相談に対応した。

- 相談件数：7件(前年度比23%)
- 相談言語：日本語(5件)、中国語(1件)、英語(1件)
- 相談者の相談内容及び出身国

報道関係機関からの外国出身県民の被災者に関する問合せ(日本)
 公益法人からの中学生被災地視察時の通訳の問合せ(〃)
 一般からの震災復興に関する楽曲の提供の申出(〃)
 大学教員からの震災後の市民生活の調査の問合せ(〃)
 公益法人からの震災時の外国出身県民の記録の寄贈に関する問合せ(〃)
 外国出身県民からの被災者の情報に関する問合せ(カナダ)
 フリーカメラマンからの福島の実況の取材に関する問合せ(中国)

【相談窓口等の広報カードの作成及び配付】

- 発行月：8月
- 仕 様：名刺サイズ 片面単色刷り 200部
- 内 容：多言語相談窓口及びトリオフォンについて
- 配付先：市町村国際交流担当課、市町村国際交流協会、保健福祉事務所、児童相談所等

(2) 外国の子どものサポート

平成 26 年度に設置した「ふくしま外国の子どもサポートセンター」を引き続き運営し、外国出身の子どもを支援するための相談対応、情報提供、日本語テキスト等の教材の貸出し等を行った。

また、原則としてこれまでサポーターの派遣実績がない市町村教育委員会からの依頼に応じて、外国の児童生徒等の学校生活への早期適応を目的としたサポーターを派遣しその活動の経費を負担するとともに、予算措置のある市町村教育委員会については、サポーターの選定及び紹介、児童生徒等の支援に関する相談対応、成果の検証等を行った。

さらに、平成 26 年度に設置した「ふくしま外国の子ども支援団体連絡会」の事務局として、支援に関わる関係団体・関係者間で講演や支援ツールに関する情報共有を行う等連携の強化を図るとともに、連絡会会員を対象とした研修会を下記のとおり開催した。

【ふくしま外国の子ども支援団体連絡会研修会】

県内 3 会場において、福島大学国語学研究室と共催で、外国の子どもの支援のあり方や有効な支援方法に関する課題の検討、意見交換等を行った。

	月日及び会場	内容及び講師（敬称略）	参加人数 （うち外国出身者数）
白河会場	6月4日（木） 13:30～16:00 白河市地域交流会議室	[現状報告] ○「平成 26 年度福島県の帰国・外国籍児童生徒等の状況」 報告者： （白河会場）芳賀淳（福島県県南教育事務所主任社会教育主事兼指導主事） （福島会場）菅野浩智（福島県教育庁義務教育課指導主事） （郡山会場）松原強（福島県県中教育事務所社会教育主事）	8(2)
福島会場	6月11日（木） 13:30～16:00 当協会研修室	[事例報告] ①「ムスリムの子どもたちの学校での受入れについて」 報告者：佐藤バシヤラットさん（ふくしま多文化共生サポーター）	13(1)
郡山会場	6月16日（火） 13:30～16:00 郡山市総合福祉センター	②「母語による心のケアと日本語指導の違い」 報告者： （白河会場）三田真理子（ふくしま多文化共生サポーター） （福島会場・郡山会場） 佐々木千賀子（ふくしま多文化共生サポーター）	14(3)

（のべ参加人数 35 名 うち外国出身者 6 名）

【外国の子どもに対するサポーター活動のコーディネート】

外国の子どもの学校生活への適応に関わる心のケア、日本語指導などのサポーター活動について、以下のとおりサポーターの紹介及び一部の事例における活動経費の支援を行った。

なお、丸付き数字は、当協会が活動経費を支援した事例である。

No	期 間 (延べ時間)	場 所	出身国	活動人数 (うち外国出身者数)
1	4月1日～5月12日 (16時間)	県北地方高等学校	セネガル	1(0)
2	4月9日～6月9日 (40時間)	県南地方小学校	フィリピン	1(0)
3	4月15日～5月27日 (12時間)	県北地方中学校	フィリピン	1(0)
4	4月23日～7月15日 (20時間)	県北地方小学校	中国	1(0)
⑤	4月24日～9月10日 (49時間)	県南地方中学校	中国	1(0)
6	5月19日～10月下旬 (70時間予定)	県北地方小学校	フィリピン	2(1)
⑦	5月21日～7月15日 (34時間)	相双地方小学校	中国	1(1)
⑧	5月26日～9月24日 (52時間)	県南地方小学校	中国(2名)	1(1)
9	6月19日～7月13日 (13時間)	県北地方小学校	フィリピン	1(1)
10	6月25日～7月16日 (8時間)	県北地方小学校	中国	1(0)
11	6月26日～12月18日 (48時間)	県北地方小学校	フィリピン	2(1)
12	7月2日～11月30日 (50時間)	県北地方小学校	フィリピン (2名)	1(0)
13	7月3日～12月14日 (50時間)	県北地方小学校	フィリピン	1(1)
14	7月9日～10月21日 (15時間)	県北地方小学校	中国	1(0)

15	7月14日～11月18日 (50時間)	県北地方小学校	フィジー	1(0)
16	8月25日～12月4日 (50時間)	県中地方中学校	中国	2(1)
17	9月9日～11月25日 (50時間)	県北地方小学校	中国	1(0)
18	9月30日～2月12日 (50時間)	県北地方小学校	中国	1(0)
19	10月1日～3月9日 (43時間)	県南地方小学校	中国(2名)	2(1)
20	10月1日～3月8日 (78時間)	県北地方中学校	中国	1(1)
21	10月7日～3月15日 (50時間)	相双地方中学校	中国	2(1)
22	10月8日～2月12日 (49時間)	県北地方中学校	中国	1(0)
23	10月21日～2月3日 (50時間)	県北地方中学校	中国	1(1)
24	11月10日～3月1日 (50時間)	県北地方小学校	フィリピン (2名)	1(0)
25	12月1日～3月3日 (36時間)	県北地方中学校	フィリピン	1(0)
26	12月24日～3月30日 (45時間)	県北地方中学校	中国	1(0)
27	12月24日～3月18日 (40時間)	県北地方小学校	中国	1(0)
28	1月12日～3月29日 (46回)	県南地方中学校	中国	1(1)
29	2月18日～3月29日 (18時間)	県中地方小学校	中国	1(1)
30	2月18日～3月29日 (18時間)	県中地方中学校	中国	1(1)
31	2月24日～3月31日 (16時間)	県北地方高等学校	セネガル	1(0)

③②	3月24日(2時間)	会津地方小学校	中国	2(1)
33	3月30日(2時間)	県北地方小学校	アフガニスタン ジャマイカ(各 1名)	1(1)

(のべ活動人数 39名 うち外国出身者 16名)

【外国の子どもの支援に関わる通訳者派遣】

No.	月日	場所	内容	活動人数 (うち外国出身者数)
1	9月30日	県北地方幼稚園・ 小学校	シリア出身園児及び保護者 への就学準備について	1(1)
2	12月17日	会津地方中学校	中国出身生徒の編入学年決 定に向けた保護者への説明	1(1)

(のべ活動人数 2名 うち外国出身者 2名)

【外国の子ども支援活動団体の支援】

ふくしま子どもの日本語ネットワーク主催の「外国にルーツを持つ子どもたちのための土曜広場」の活動において、会場の提供等のサポートを行った。

(3) 防災訓練への参加

県主催の「平成27年度福島県総合防災訓練」に参加し、訓練参加団体に対して、当協会の概要、災害時に外国出身者への配慮が必要であること及びその方法等の周知を図った。

- 日時：8月30日(日) 8:30~11:45
- 会場：南相馬市雲雀ヶ原祭場地及びひがし生涯学習センター
- 参加者：6名(うち外国出身者2名)
- 内容：「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」において、通訳ボランティア役及び日本語がわからない外国人役の配置協力を行った。

また、「指定避難所開設及び避難場所確保訓練」において、避難所で多言語対応が可能となるまでの間、外国出身避難者に対し声がけする際の配慮等について周知を図るため、「外国出身住民に易しく優しい日本語ワークショップ」を実施した。

さらに、「体験訓練及び防災啓発展示」において、当協会の資料を配付し広報等を行った。

(4) 「福島生活（中国語版）」「Fukushima Life(英語版)」による情報提供

外国出身県民に対し、Facebookにより中国語と英語で、日本の文化や習慣、地域のイベント情報などの身近な生活情報を頻繁に提供し、福島県での暮らしをサポートした。

- 福島生活：年 170 回
- Fukushima Life：年 123 回

(5) 大規模地震発生時外国出身者向け緊急放送用CD（タガログ語・タイ語版）の制作

大規模地震が発生した場合に外国出身者に対し迅速な情報提供を行うため、昨年度の英語・中国語版に引き続きタガログ語・タイ語版のCDを作成し、3月に県内のラジオ放送局、テレビ放送局及び各市町村に配付した。

- 言語：タガログ語、タイ語
- 内容：第一報、第二報ともに昨年度と同じ
第一報（地震発生直後から数時間までを想定）
慌てないこと、揺れが何度かくること、海の近くにいる人や運転中の人に対する注意、身の安全を確保すること等
第二報（数時間後から数日間を想定）
揺れはまだ続くこと、隣近所の人と助け合うこと、学校や公民館が避難所になっており水や食べ物、毛布があること等
- 規格：タガログ語(第一報)、タガログ語(第二報)、タイ語(第一報)、タイ語(第二報)の4種 各1分

2 活力ある地域づくりに参加できる環境整備の推進

(1) ふくしま多文化共生サポーターの活動促進

サポーターの登録を随時行うとともに、外部団体からの依頼に応じて適切な登録者を紹介するとともに、当協会主催事業においても積極的に登録者を活用するなど、その活動の促進を図った。

【登録者数】

- 人数：204名（前年度比 119%）
- 出身国：日本（99）、中国（36）、韓国朝鮮（14）、フィリピン（21）、タイ（6）、台湾（3）、アメリカ（2）、インド（2）、ベトナム（4）、ブラジル（3）、インドネシア、トンガ、アルゼンチン、エジプト、モンゴル、ルワンダ、ポーランド、メキシコ、パキスタン、オーストラリア、フィンランド、ウクライナ、ネパール、カンボジア（各1）

(内 訳) ※複数登録あり

登録内容 居住地 (人数)	通訳・翻訳					国際理解	合計
	英語	中国語	韓国語	タガログ語	その他の言語		
県北(107)	47	23	12	11	38	49	180
県中(57)	27	17	7	3	19	32	105
県南(10)	6	2		3	3	4	18
会津(11)	4	4	1		5	6	20
いわき(9)	5	3		3	3	5	19
相双(4)	1				4	1	6
県外(6)	5	1			3	1	10
合計(204)	95	50	20	20	75	98	358

【コーディネーター数】

	カテゴリー	件数	活動人数 (うち外国出身者)
①	公的団体等からの依頼	41	70(42)
②	当協会主催事業への協力	14	18(13)
③	外国の子どもに対するサポーター活動	33	39(16)
④	外国の子どもの支援に関わる通訳者派遣等	2	2(2)
	合計	90 (前年度比 132%)	129 (前年度比 142%) (73) (前年度比 126%)

(内 訳)

① 公的団体等からの依頼

件数：41件（前年度比 108%）

活動人数：70名（前年度比 123%）

No	実施月日	場 所	内 容	依頼者	活動人数 (うち外国出身者)
1	4月17日	伊達市役所保原本庁舎	アルゼンチンについての話	伊達市国際交流協会	1(1)
2	4月19日	福島移住女性支援ネットワーク事務所	韓国出身者による福島での暮らしの話	福島移住女性支援ネットワーク	1(1)
3	4月24日	福島県庁	マレーシア農業研修生表敬訪問時の通訳(英語)	(一社)福島県国際農友会	1(0)
4	5月17日	福島移住女性支援ネットワーク事務所	中国出身者による福島での暮らしの話	福島移住女性支援ネットワーク	1(1)
5	5月22日	パレスいわや	第7回太平洋・島サミット・福島県知事主催歓迎昼食会における通訳(英語)	福島県国際課	10(2)
6	5月22日	スパリゾートハワイアンズ	第7回太平洋・島サミット・安倍首相主催歓迎夕食会における通訳(英語)	外務省	2(1)
7	6月2日	—	福島空港案内の通訳(ベトナム語)	福島県空港交流課	1(1)
8	6月8日	福島地方裁判所	センター入所者に対する通訳(中国)	福島県女性のための相談支援センター	1(1)
9	6月26日	福島空港	ベトナムチャーター便搭乗者に対する免税店案内の通訳(ベトナム語)	福島県空港交流課	1(1)
10	6月30日	福島空港	ベトナムチャーター便搭乗者に対する免税店案内の通訳(ベトナム語)	福島県空港交流課	1(1)
11	7月10日	福島県立福島高等学校	台湾の高校生との交流時の通訳(中国語)	(一社)Bridge for Fukushima	1(1)
12	7月11日	相馬市・浪江町	台湾の高校生のバス視察の通訳(中国語)	(一社)Bridge for Fukushima	1(1)
13	7月11日	福島移住女性支援ネットワーク事務所	ブラジル出身者による福島での暮らしの話	福島移住女性支援ネットワーク	1(1)

14	7月14日	福島家庭裁判所	センター入所者に対する通訳（中国語）	福島県女性のための相談支援センター	1(1)
15	7月15日	JA福島ビル	エジプトの歴史や食文化についての話	JA福島中央会 あすなる会	1(1)
16	7月29日	福島運転免許センター	運転免許の切り替えの通訳（英語）	二本松市教育委員会	1(0)
17	9月2日	—	台湾チャーター便搭乗者に対する免税店案内の翻訳（台湾語）	福島県空港交流課	1(1)
18	9月8日	国見町役場	住民に対する面談通訳（タガログ語）	国見町	1(1)
19	9月15日	福島県青少年会館	中国出身者及びアメリカ出身者による海外の子育てについての話	福島市小中学校PTA連合会	2(2)
20	9月19日	福島市アクティブシニアセンターA0Z	中学生海外研修事業事前研修会の講師（英会話）	福島市国際交流協会	2(2)
21	10月22日	ホテルハマツ	駐日大使福島県視察福島県知事歓迎夕食会における通訳（英語）	福島県国際課	7(1)
22	10月24日	福島市立吾妻中学校	中国伝統楽器の演奏と中国の文化についての話	福島市立吾妻中学校	1(1)
23	10月25日	福島移住女性支援ネットワーク事務所	台湾出身者による福島での暮らしの話	福島移住女性支援ネットワーク	1(1)
24	10月28日	当協会	センター入所者に対する通訳（タガログ語）	福島県女性のための相談支援センター	1(1)

25	11月6日	福島県男女共生センター	パキスタン出身者による日本の教育事情の話	二本松市企画財政課	1(1)
26	11月6日	福島県立あさか開成高等学校	エジプト出身者による日本で外国の人と生活するための話	福島県立あさか開成高等学校	1(1)
27	11月9日	福島市立福島第三小学校	インドネシアのお祭りについての話	福島市立福島第三小学校	1(1)
28	11月12日	ホテル辰巳屋	オランダ園芸関係者との名刺交換会での通訳(英語)	福島県農林企画課	3(0)
29	11月19日	福島市立福島第三小学校	インドネシアのお祭りについての話	福島市立福島第三小学校	1(1)
30	11月22日	磐梯町交流館「にこにこ」	中国伝統楽器「古琴」の演奏	磐梯町国際交流協会	1(0)
31	11月25日	福島空港	ベトナムチャーター便搭乗者に対する免税店案内の通訳(ベトナム語)	福島県空港交流課	1(1)
32	11月28日	福島市立飯野中学校	中国伝統楽器の演奏と中国の文化についての話	福島市立飯野中学校	1(1)
33	11月28日～29日	浅草寺境内前	福島県と安達地方の観光物産展の通訳(英語、中国語、韓国語)	福島県県北地方振興局	6(2)
34	12月9日	福島市役所	駐日クロアチア大使表敬訪問の通訳(英語)	福島市国際交流協会	1(0)
35	12月10日	福島商工会議所	駐日クロアチア大使表敬訪問の通訳(英語)	福島商工会議所	1(0)

36	12月10日	福島市内	駐日クロアチア大使市内視察の通訳(英語)	駐日クロアチア大使館	1(0)
37	12月14日	福島市立福島第四中学校	アメリカ出身者による国際理解の重要性についての話	福島市立福島第四中学校	1(1)
38	12月15日	ザ セレクトン 福島	台湾教育旅行関係者訪問団懇談会の通訳(中国語)	(公財) 福島県観光物産交流協会	5(5)
39	12月16日	除染情報プラザ	台湾教育旅行関係者訪問団視察の通訳(中国語)	(公財) 福島県観光物産交流協会	1(1)
40	3月12日	川俣町鶴沢公民館	ネパールについての話	川俣町国際交流協会	1(1)
41	3月13日	鏡石町3区コミュニティセンター	パキスタン料理の指導	鏡石町国際交流推進協議会	1(1)

(のべ活動人数 70 名 うち外国出身者 42 名)

② 当協会主催事業への協力

件数：14 件(前年度比 280 %)

人数：18 名(前年度比 360%)

No	実施月日	場 所	内 容	活動人数 (うち外国出身者)
1	6月4日	白河市地域交流館	ふくしまの外国の子ども支援団体連絡会研修会での事例報告	2(1)
2	6月11日	当協会	〃	2(1)
3	6月16日	郡山市総合福祉センター	〃	2(1)
4	7月18日	当協会	グローバルコミュニティカフェでのゲストスピーカー	1(1)

5	8月5日	当協会	グローバルコミュニティカフェでの ゲストスピーカー	1(1)
6	8月30日	南相馬市	福島県総合防災訓練でのやさしい日本語 ワークショップ講師	2(0)
7	9月5日	当協会	グローバルコミュニティカフェでの ゲストスピーカー	1(1)
8	9月26日 ～27日	JICA 二本松	ふくしまグローバルセミナー2015 での 講師	1(1)
9	10月17日	当協会	グローバルコミュニティカフェでの ゲストスピーカー	1(1)
10	11月7日	当協会	〃	1(1)
11	1月16日	当協会	〃	1(1)
12	2月9日	ふくしま FM スタジオ	大規模地震発生時外国出身者向け緊急 放送用CD作成に関わるタイ語の翻訳 及びアナウンス	1(1)
13	2月20日	当協会	グローバルコミュニティカフェでの ゲストスピーカー	1(1)
14	3月5日	当協会	〃	1(1)

(のべ活動人数 18名 うち外国出身者 13名)

③ 外国の子どもに対するサポーター活動 (P12 に記載のとおり)

件数：33件 (前年度比 206%)

人数：39名 (前年度比 205%)

④ 外国の子どもの支援に関わる通訳者派遣等 (P14 に記載のとおり)

件数：2件 (前年度比 22%)

人数：2名 (前年度比 20%)

【ふくしま多文化共生サポータースキルアップ研修会の開催】

ふくしま多文化共生サポーター登録者を対象に研修会を開催し、登録者の資質向上を図った。

	日時及び会場	内容及び講師（敬称略）	参加人数 （うち外国出身者数）
福島会場	10月31日（土） 10：00～15：30 郡山市総合福祉センター	10：00～12：00 基礎演習～通訳の心構えと自己トレーニング法 13：00～15：30 実践演習	22(7)
郡山会場	12月5日（土） 10：00～15：30 当協会	講 師：菅野エリ（法廷通訳・福島NHK文化センタースペイン語講師）	23(10)

(2) 外国出身者コミュニティのネットワーク構築

災害時における外国出身者コミュニティの自助力・共助力の向上、情報伝達や状況把握のキーステーションとしての役割の強化を図ることを目的として、下記のとおり外国出身者コミュニティと協働で講習会等を実施し、外国出身者コミュニティの組織運営能力の強化及び当協会とのネットワークの構築を図った。

【外国出身者コミュニティとの協働事業の実施】

No	実施月日	場 所	外国出身者コミュニティの名称 （協働先）	内 容	参加人数 （うち外国出身者）
1	7月5日（日） 10:30～12:30	郡山市労働福祉会館	カトリック郡山教会に通うフィリピン出身者コミュニティ	講習会「給料明細書の見方」	11(11)
2	7月26日（日） 14:00～16:00	マイタウン白河	ハワクカマイ白河	講習会「お葬式のマナー」	9(9)
3	11月29日（日） 14:00～16:00	福島吉井田学習センター	福島中国伝統文化愛好会	講習会「お葬式と結婚式のマナー」	34(34)
4	12月6日（日） 10:00～12:00	当協会	コムニタス福島インドネシア	講習会「放射線の健康への影響とごみの出し方の基本」	10(10)
5	1月24日（日） 10:00～15:00	郡山市富田公民館	日中文化ふれあいの会 幸福	講習会「日本語から垣間見る日本の社会」	18(15)

（のべ参加人数 82名 うち外国出身者 79名）

【スタディツアーの実施】

No	実施月日	場 所	内 容	参加 人数 (うち外国 出身者)
1	10月25日(日) 9:00～17:00	仙台国際セ ンター他	「せんだい地球フェスタ」の視察及び 宮城県内の外国出身者コミュニティ との意見交換会	21(18)
2	11月15日(日) 7:00～18:30	栃木県青少 年会館	「レッツアミーゴ」の視察及び栃木県 内の外国出身者コミュニティとの意 見交換会	26(24)

(のべ参加人数 47名 うち外国出身者 42名)

【外国出身者コミュニティのパンフレット作成】

外国出身者コミュニティ活動の地域の理解を深めるとともに、コミュニティのメンバー拡大に資するため、外国出身者コミュニティと協働して、活動紹介パンフレットを作成した。

○作成時期：11月

○作成団体：つばさ～日中ハーフ支援会、福島多文化団体 心ノ橋、福島中国伝統文化愛好会

○部 数：各 500 部

○仕 様：A4 巻三つ折り、両面カラー

III 多様な関係団体と連携した国際交流活動の推進

【目標】

県、市町村や市町村国際交流協会、日本語教室、国際交流・協力団体など国際交流活動を行っている多様な関係団体との調整・連携を一層強化し、国際交流活動が県内各地で展開できるよう環境を整備していく。

【目標指数】

項 目	平成 27 年度 目 標	平成 27 年度 実績(達成率)
外国出身県民にかかわる ものも含めた相談件数	970	677(70%)
HP トップページ※ アクセス数	123,000	73,182(59%)

※HP 訪問者数（同じ人が1日複数回訪問しても1人とカウント） 226,886人
(前年度比 110%)

【事業実績】

1 人材育成やネットワーク化の推進

(1) 日本語教室の活動支援

日本語教室メーリングリストを活用し、研修会等の情報提供や外国出身者に対する地域の日本語教室の案内及び日本語ボランティアからの教材の相談等に応じた。

(2) 日本語学習支援ネットワーク会議 2015 in Fukushima

東北地方の日本語学習支援関係者を対象に、外国出身者の日本語学習支援をテーマとして平成17年度から毎年東北各県で行われてきた会議を福島大学と協働で実施した。

○ 日 時：10月3日（土）10：15～16：00

○ 場 所：福島大学

○ 参加者：日本語ボランティア等 76名

○ 内 容：基調講演「多文化パワーと地域創生～未来をデザインする日本語支援」（講師：（一社）グローバル人財サポート浜松代表理事 堀永乃）
分科会「学習者のための日本語教室とは」「社会参加につなげる支援のあり方」「外国にルーツを持つ子どもとその家族」等

(3) 市町村国際交流協会等との連携強化

【市国際交流協会ネットワーク会議】

○ 日 時：7月2日（木）10:30～15:00

○ 場 所：いわき市文化センター

○ 参加者：いわき市、会津若松市、郡山市、喜多方市、田村市、南相馬市、伊達市の計7市国際交流協会及び南相馬市の国際交流担当部署 計10名

○ 内 容：（公財）いわき市国際交流協会事務局の視察、フェスティバル、日本語教室、海外派遣に関わる事業等についての情報交換

【市町村国際交流協会等への訪問】

○ 期 間：8月～10月

○ 訪問先：福島市、いわき市、会津若松市、郡山市、白河市、喜多方市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、鏡石町、北塩原村、山都町、磐梯町、会津坂下町、棚倉町、泉崎村、中島村、小野町、浪江町、富岡町、大熊町の計22市町村国際交流協会

相馬市、須賀川市、本宮市、矢吹町の計3市1町国際交流担当部署

○ 内 容：地域の状況把握、当協会事業への理解と協力依頼

【国際交流関係フェスティバル等への出展】

県内各地で開催された国際交流フェスティバルにブース出展し、当協会事業を紹介するとともに、外国出身県民の協力を得て外国語で名前を書いたカードを渡すなどにより、県民との交流を図った。

No	実施月日	場 所	主催者	フェスティバルの名称	内容	全体の来場者数
1	9月19日(土) 10:00~15:00	福島市アクティブシニアセンターAOZ	福島市国際交流協会	結・ゆい・フェスタ2015	当協会事業紹介、翻訳模擬体験など	800
2	2月28日(日) 10:00~14:00	相馬市総合福祉センター	わくわくワールドフェスタ実行委員会	わくわくワールドフェスタ	当協会事業紹介、外国語で名前を書いたカードの配布など	700

2 相談・情報提供

(1) 国際交流に関わる相談対応

- 相談件数：235件(前年度比71%)
- 内訳

相談者 \ 相談内容	協会業務	団体運営	人の紹介	通訳翻訳	国際理解教育	日本語関係	留学語学	国際化の現状	イベント情報	その他	合計
行政関係	13	6	7	11	4	1	1	3		1	47
各種団体等	12	8	13	7	2		1			3	46
一般	11		4	1	1	1	5		4	8	35
教育関係者	3	6	2	1	16	4		1			33
国際交流・協力団体	5	15	3	3		1			1		28
報道関係者	4	1	9	4				2		1	21
市町村国際交流協会	3	7	1		2	3					16
県外	4	2	1	2							9
合計	55	45	40	29	25	10	7	6	5	13	235

(2) 広報紙「G y r o (ジャイロ)」の発行

- 発行月：7月、11月、3月
- 仕様：A4判8ページ、表紙・裏表紙カラー刷り、3,000部
- 内容：県内で活躍する外国出身者の紹介、海外で活躍する県民の紹介、当協会平成26年度事業報告など
- 配付先：賛助会員、県内公共施設、市町村国際交流協会、民間団体ほか

(3) デジタルによる情報提供

IT 専門嘱託員を1名配置し、国際交流に関する情報の提供、中国語版・英語版ホームページにおける外国出身県民に対する防災情報ページの更新、県内日本語教室・国際交流団体等の情報の提供などを、メールマガジン、フェイスブック及びツイッターの活用、ホームページの更新により行った。

また、ホームページについては、1月にスマートフォンに対応するコンテンツを構築した。

- メールマガジン
登録者数：217名(前年度比106%)
発信回数：24回(前年度比96%)
- フェイスブック
登録者数(「いいね!」)：323名(前年度比239%)
投稿数：548件(前年度比571%)
- ツイッター
登録者数(フォロワー数)：33名(前年度比165%)
発信数(ツイート数)：299件(前年度比467%)

3 調査研究・提言

(1) 日本語教室活動実態調査

県内の日本語教室の開催や運営の状況を調査し、日本語を学びたい外国出身県民や日本語をボランティアで教えたい県民に対し、日本語教室の連絡先、目的、活動状況等の基本情報をホームページに掲載した。また、同調査の際、今後の当協会の運営の参考にするため、当協会への意見なども併せて調査した。

- 調査時期：7月
- 登録団体：32団体(休止中1団体を含む)

(2) 民間国際交流・協力団体活動実態調査

県内の国際交流団体・国際協力団体の活動状況を調査し、国際交流・協力活動に参加したい県民に対し、国際交流団体・国際協力団体の連絡先、目的、活動状況等の基本情報をホームページに掲載した。また、同調査の際、今後の当協会の運営の参考にするため、当協会への意見なども併せて調査した。

- 調査時期：7～8月
- 登録団体：103団体

4 協働事業の推進

(1) 国際交流・協力活動への助成

福島県内に団体の所在地があり団体運営に必要な事項を定めた会則等や活動実績を有する非営利の民間団体3団体の3事業に対し、総額30万円の助成を行った。

	団体名	活動名	交付額 (万円)
1	蓬萊日本語教室	多文化キッズキャンプ福島 2015	10
2	NPO 法人 ルワンダの教育を考える会	Rwandaful Summer 2015 「ルワンダとふくしまのキセキ」	10
3	ふくしま・ベトナム友好協会	在福ベトナム人留学生と他国の留学生、日本人学生とのスキー教室	10

【助成事業等報告会】

- 日時：2月6日（土）13：30～16：00
- 場所：当協会
- 参加者：23名
- 内容：「国際交流・協力活動への助成事業」対象団体及び「次世代の海外研修助成事業」対象者からの報告

IV 世界に向けた福島の発信

【目標】

福島県の復興の様子をありのままに発信する。

【事業実績】

1 情報の発信

(1) 震災復興版ジャイロ『がんばろう福島』の発行

福島県に暮らす外国出身者や県外・海外の外国人に向けて、不必要な不安を取り除き、また、国内、海外からの福島に対する風評を抑えるため、震災復興に向けた取組や県民の声などを、6言語でWEB発行するとともに、紙媒体で3言語版を発行し、福島の復興が進む現状を広く世界に発信した。

【ホームページ上での発行】

- 発行回数：月3～4回ブログ発信
- 言語：日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語及びポルトガル語
- 内容：福島の風景写真、福島に暮らす外国出身者からのコメント等

【印刷物】

- 発行月：7月、11月、3月
- 発行部数：日本語(2,000部)、中国語(1,000部)、英語(1,000部)
- 仕様：A4判1枚 両面カラー刷り
- 内容：福島の風景写真、福島に暮らす外国出身者からのコメント等
- 配付先：賛助会員、県内公共施設、市町村国際交流協会、民間団体等

V その他

1 第24回全国ボランティアフェスティバルふくしまへの協力

ボランティア活動者の全国的な情報交換・研究協議を目的とした「第24回全国ボランティアフェスティバルふくしま」が福島県で開催され、県内外から約1,600人が参加した。当協会は、役職員が実行委員会等に委員として参加し、2日目に行われた分科会の一つを担当した。

【分科会】

- 日 時：11月22日（日）9:00～12:00
- 場 所：ビッグパレットふくしま
- 分科会参加者：16名
- テーマ：やさしい日本語ワークショップ～誰にとっても易しく優しいコミュニケーションの手段～
- 内 容：基調講演
 テーマ：地域に広がり『やさしい日本語』
 講 師：東海日本語ネットワーク副代表 米勢治子
 ワークショップ
 内 容：町内会で配布されたお知らせ文を、外国出身ゲストと一緒に
 わかりやすい日本語に直した。

2 報告書等への執筆

	報告書等名	発行者	題 名
1	平成 26 年度多文化共生事業事例集	(一財) 自治体国際化協会	外国出身者コミュニティとの協働推進事業

3 東日本大震災・原発事故被災地視察団の受入れ

- (1) Japan Society 米国人教員のための日本研修ツアー福島視察
 - 主 催：Japan Society(本部：アメリカ)
 - 月 日：7月15日（水）～16日（木）（1泊2日）
 - 参加者：アメリカの高等学校等教員8名、Japan Society 関係者2名 計10名
 - 視察先：浪江町内（駅周辺、鎮魂碑等）、福島市立清明小学校

- (2) 日米草の根交流サミット大分大会 福島オプションプログラム
 - 主 催：公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念国際草の根交流センター
 - 月 日：7月13日（月）～15日（水）（2泊3日）
 - 参加者：アメリカ人3名
 - 視察先：除染情報プラザ、南相馬ソーラー・アグリパーク、相馬市内（公営住宅、防災備蓄倉庫、慰霊碑等）、五色沼自然探勝路、宮泉酒造、会津鶴ヶ城

4 その他の受入れ

- (1) 福島市「中学生ドリームアップ事業」職場体験活動
 - 期間：6月30日（火）～7月3日（金）、7月7日（火）～10日（金）
 - 人数：福島市立岳陽中学校2年生2名、福島市立松陵中学校2年生1名、
福島市立蓬萊中学校2年生1名 計4名
 - 内容：当協会事務所内での各種業務の体験、当協会通訳員へのインタビュー、
市内日本語教室への視察等

- (2) 福島市教育委員会西学習センター主催「こども仕事じゅく『国際交流の仕事を学ぼう』」
 - 日時：8月6日（木）10:00～11:30
 - 人数：小学4年生4名、5年生4名、6年生3名、引率1名 計12名
 - 内容：「国際交流協会」の仕事についての学習